

ORANGE-RISC 組立て説明書

部品表

No.	名称	個数	場所	説明
001	ORANGE-RIS 専用プリント基板	1	-	印刷のある面を上にして各部品を差し込み、下側から半田付けします。部品によっては、紙粘着テープ等で部品を固定しておくとうりやすいです。
002	Longan Nano マイコンボード	1	JP5, JP6	Longan Nano マイコンボードは直接半田付けしないで、ピンソケットをはんだ付けしてから装着します。(Longan Nano にはあらかじめ付属のピンヘッダーをはんだ付けしておきます。)
003	ピンソケット(18P)	2	JP5, JP6	18P のピンソケットは 途中のピンの1本をニッパーで切断 してから基板に装着します。テーピングして基板と垂直になるようにしてからはんだ付けします。
004	RCA ジャック	1	VIDEO	基板の図の位置に差し込み、はんだ付けします。
005	USB コネクター(A メス)	1	USB-KB	基板の図の位置に差し込み、はんだ付けします。
006	マイクロ USB コネクター	1	POWER	基板の図の位置に差し込み、はんだ付けします。
007	スライドスイッチ	1	SW2	基板の図の位置に差し込み、はんだ付けします。
008	ピンヘッダー 12P(2×6P)	1	JP9	付属のピンヘッダーを分割して利用します。ラジオペンチ等で押さえながら手で折ることができます。基板の図の位置に差し込み、はんだ付けします。
010	ジャンパーピン	4	JP9	ビデオを有効にするときは、JP9 の B4-VIDEO1、B5-VIDEO2 をショートします。キーボードを有効にするときは、JP9 の A11-KBD1、A12-KBD2 をショートします。
011	抵抗 100Ω	1	R1	極性はありませんので、カラーコードまたはテスターで抵抗値を確認してから装着してください。
012	抵抗 470Ω	1	R2	
013	ピンヘッダーまたはピンソケット	2	JP2, JP3	I/O を接続するときに、ピンヘッダーまたはピンソケットを装着して使用します。 部品は添付していません。
014	3 mm LED	1	LED1	リード線の長い方を A、短い方を K になるように差し込みます。 部品は添付していません。
015	抵抗	1	R3	LED の種類に応じて抵抗を装着してください。部品は添付していません。
016	圧電スピーカー (13mm)	1	II	極性はありません。基板の図の位置に差し込み、はんだ付けします。圧電スピーカーは GND と JP9 の SOUND に配線されています。使用するときは JP9 の SOUND をジャンパー線等で接続してください。 部品は添付していません。
017	小型(薄型)タクトスイッチ	1	SW1	SW1 は A0 と GND に配線されています。 部品は添付していません。
018	ピンヘッダーまたはピンソケット	1	JP10	Grove コネクターは GND のみ配線されていますので、使用するときは JP10 を利用してジャンパー線等で接続してください。 部品は添付していません。
019	Grove 用 4P コネクター-L 型(オス)	1	J1	

抵抗カラーコード

抵抗器はロットによって、1/6W 炭素皮膜抵抗器(カラーコードが4本帯)または1/4W 金属皮膜抵抗器(カラーコードが5本帯)のいずれかが入っています。カラーコードは次の表の通りです。

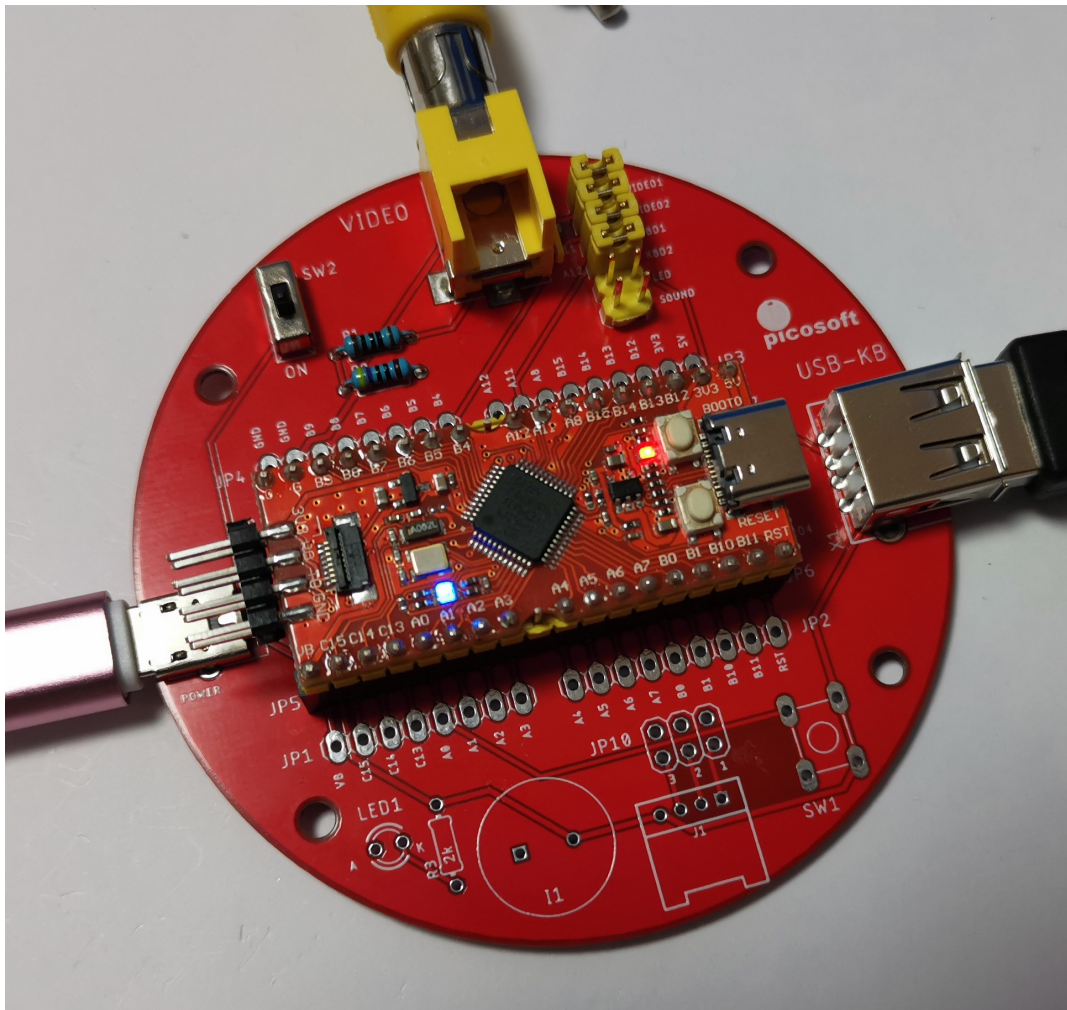
抵抗値	1/6W 炭素皮膜抵抗器	1/4W 金属皮膜抵抗器
100Ω	茶黒茶金	茶黒黒黒茶
470Ω	黄紫茶金	黄茶黒黒茶

動作確認

写真は、組立てキット付属の部品をすべて実装したものです。

Longan Nano にファームが書き込まれていません。ビデオや USB ケーブルに対応したファームを書き込んでください。

マイクロ USB ケーブル、ビデオケーブル、USB キーボードを接続して、スライドスイッチを ON にすると起動します。



公式サイト

技術情報は公式ページで公開しております。

<http://www.picosoft.co.jp/ORANGE-RISC/>